

## 令和7年度～9年度 中期経営計画

### 公益財団法人さいたま緑のトラスト協会

当協会は、県民が主体となって行う県内の優れた自然や貴重な歴史的環境等を保全するための活動である「緑のトラスト運動」を推進する組織として、昭和59年に財団法人として設立され、平成24年に公益財団法人になりました。

これまで、「緑のトラスト運動」の普及啓発、埼玉県が設置する「さいたま緑のトラスト基金」への募金活動の実施、同基金で取得された「緑のトラスト保全地」の保全管理など、協会の会員やボランティアスタッフの参加・支援のもと、埼玉県や地元市町と一体となって、運動の推進に寄与してきたところです。

「緑のトラスト保全地」は、平成2年に第1号地を取得して以来、令和7年3月末現在、14か所、約74.9haになりました。

近年、当協会の事業実施にあたって、SDGsの推進という新たな目的も加わり、これら保全地を県民共有の財産として、良好な状態で末永く保全するとともに、環境学習の場、自然体験活動の場としても活かしていくことが求められています。

また、「緑のトラスト保全地」の適正な管理に向けては、県民が主体となって行う「緑のトラスト運動」推進の担い手であるボランティアスタッフが減少、高齢化していることへの対応も求められています。

さらに、近年、県内で急速に拡大しているカシノナガキクイムシによるナラ枯れや暴風、豪雨等の自然災害による倒木等の被害が増加しており早急な対策が必要となっております。

当協会は、「緑のトラスト運動」の輪をさらに広げ、ふるさと埼玉の緑を次世代の人々に引き継ぐという役割を果たすべく、これまでの活動の実績や経験を基にこれからの3年間を以下の経営方針や経営目標を柱として事業を進めていくものです。

## 1 経営方針

- (1) 「緑のトラスト運動」を推進します。
- (2) 「緑のトラスト運動」に関連する活動を支援します。
- (3) 経営改善に向けて自主財源の確保に努めます。
- (4) DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に努めます。
- (5) 前例踏襲ではなく新たな取組への挑戦に努めます。

## 2 経営目標・経営指標

- (1) 「緑のトラスト運動」の担い手であるボランティアスタッフを確保するとともに質の向上を図るため、魅力的なイベントや充実した研修を開催するなどして、ボランティア数の増加に努めます。

### 【数値目標】

ボランティア実働者数

令和6年度末 見込み	令和7年度末 目 標	令和8年度末 目 標	令和9年度末 目 標
395人	410人	425人	440人

※ 「ボランティア実動者数」は、複数の保全地に登録している者については、重複した人数となっている。

- (2) 「緑のトラスト運動」への理解を促進するため、魅力的なイベントの開催や積極的な広報を行うことにより、自然観察会等のイベント参加者の増加に努めます。

**【数値目標】**

自然観察会等参加者数

令和6年度 見込み	令和7年度 目 標	令和8年度 目 標	令和9年度 目 標
373人	430人	440人	450人

※ 「自然観察会等参加者数」は、一般参加者及び会員の延参加者数であり、運営に参加したボランティアスタッフ数は除いている。

- (3) SDGsへの理解と関心の高い企業・団体等の社会貢献活動の支援として、保全地での体験活動を受け入れることにより、「緑のトラスト運動」の推進に努めます。

**【数値目標】**

企業等による保全活動件数

令和6年度 見込み	令和7年度 目 標	令和8年度 目 標	令和9年度 目 標
15件	18件	21件	24件

- (4) 経営改善に向けて、自主財源を確保し前年度決算よりも赤字縮小に努め、令和9年度に収支均衡を目指します。

ア 会員（個人・法人）の確保（会費収入額の確保）

**【数値目標】**

会員数（個人・法人）

令和6年度末 見込み	令和7年度末 目 標	令和8年度末 目 標	令和9年度末 目 標
1,380人	1,410人	1,440人	1,470人

※ 「会員数」の単位は「人」としているが、法人や団体も含まれる。

イ 協会への寄附金の確保

**【数値目標】**

企業・団体からの寄附件数

令和6年度 見込み	令和7年度 目 標	令和8年度 目 標	令和9年度 目 標
20件	25件	30件	35件

(5) DXを推進し、事務処理の効率化、事務的経費の削減に努めます。

ア ペーパーレス化の推進

【数値目標】

コピー使用量（枚数）

令和5年度実績（49,869枚）を基準

令和6年度 見込み	令和7年度 目標	令和8年度 目標	令和9年度 目標
44%増 (72,000枚)	5%減 (47,375枚)	10%減 (44,882枚)	15%減 (42,388枚)

イ キャッシュレス化の推進

【数値目標】

会費納入のインターネットバンキング利用件数

令和6年度 見込み	令和7年度 目標	令和8年度 目標	令和9年度 目標
5件	20件	30件	40件

### 3 実施方策

(1) ボランティア実働者数の確保

ア 「緑のトラスト運動」推進の担い手となるボランティアスタッフを広く募集・育成するため、「緑のボランティアセミナー」の充実を図るとともに、様々な協会の活動において、セミナー修了者との協力体制の確保に努めます。

イ 保全管理に係る知識や技能を高める研修やボランティアスタッフとの連携・情報交換を図るための会議を開催するとともに、各「緑のトラスト保全地」の活動状況等について、協会ホームページや県の関連サイトに掲載するなど、情報ネットワークの充実を図ります。

ウ 「緑のトラスト運動」を推進するため、多様な活動を受け入れる体制を確保するとともに、ボランティアスタッフの高齢化に対応するため、企業や学校等への働き掛けを行い、若い世代のボランティアスタッフの参加及び育成を図ります。

(2) 自然観察会等参加者数の確保

ア 「緑のトラスト保全地」を会場とした自然観察会や自然体験活動等のイベントを開催し、保全地に親しんでいただく事業を実施します。

イ 広報紙「グリーンアルファ」やホームページに、「緑のトラスト保全地」におけるイベントや体験活動等の情報を掲載するなど広報の充実を図り、多くの県民の参加を促します。

ウ 企画の実施運営に当たっては、「緑のトラスト運動」を支えるボランティア

スタッフや県、地元市町、その他関係団体との連携を図ります。  
エ より多くの人に「緑のトラスト運動」を理解してもらうため、他団体が主催するイベントへの参加を進めます。

(3) 企業等による保全活動の推進

ア 企業・団体等の社会貢献活動の場として「緑のトラスト保全地」における保全活動を積極的に受け入れます。

イ 学校、大学等と協力しながら、児童・生徒・学生を対象とした普及啓発、保全体験活動等の充実を図ります。

ウ 実施に当たっては、「緑のトラスト運動」を支えるボランティアスタッフ等との連携を図ります。

(4) 経営改善

会員（個人・法人）の確保（会費収入額の確保）及び寄附金の確保に向けて次の取組を徹底します。

ア 協会のホームページや広報紙「グリーンアルファ」の内容の充実を図り、「緑のトラスト運動」への参加がSDGsの推進に大きく寄与することを強くアピールします。

イ 各「緑のトラスト保全地」の特長を活かした魅力的なイベントを開催します。

ウ 会員のメリットとなる会員特典の充実を図ります。

エ 企業や団体に対する働き掛けとして、法人団体の会合等で、「トラスト運動」への協力要請を積極的に行ってまいります。

オ 企業・団体等の社会貢献活動の場として「緑のトラスト保全地」への受け入れを積極的に行ってまいります。

(5) DXの推進

DX推進として、職員の意識改革を進める観点等から次の取組を徹底し、「アナログからデジタルの転換」を図ります。

また、デジタルツールの活用による業務プロセスの改革として、例えば、危機管理への対応強化の観点から、トラスト保全地内の監視モニター設置について費用対効果を検証し、導入の検討を進めます。

**【ペーパーレス化の推進】**

ア 資料等について、紙管理から電子ファイル管理への転換を図ります。

イ 打合せ等について、パソコン上で資料を共有し、資料のペーパーレス化を図ります。

ウ 協会内で会議・打合せを実施する際にWEB会議を導入し、資料のペーパーレス化を図ります。

**【キャッシュレス化の推進】**

ア 協会のホームページの内容の充実を図り、会費納入でのインターネットバンキング活用の周知を図ります。

イ 会費納入通知に、インターネットバンキング活用の案内文書を同封し周知を図ります。

ウ 広報紙「グリーンアルファ」において、インターネットバンキング活用の周知を図ります。

(6) 新たな取組への挑戦

ア トラスト保全地の魅力を知ってもらい、「緑のトラスト運動」の推進につなげるため、県民等の利用者に対し保全地スタンプラリーの実施を検討します。

イ ボランティアスタッフのモチベーション維持・向上を図るため、ボランティアスタッフへの顕彰制度の導入を検討します。

(7) 「緑のトラスト保全地」の適正な管理

ア 「緑のトラスト保全地」の適正な管理を推進するため、ボランティアスタッフや地元市町、関係企業、大学、団体等との連携を進め、管理体制の強化を図ります。

イ 近年、枯損木・支障木の増加による枝折れや、暴風、豪雨等の自然災害に加え、カシノナガキクイムシによるナラ枯れで倒木等の被害が増加しているため、ボランティアスタッフの安全に対する意識を高めるとともに、日頃から情報共有を図り、保全地内散策路等の安全確保に努めます。

**4 財務計画** (単位：千円)

		科目	令和6年度 (決算見込)	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収 入		基本財産運用収入	10	10	10	10
		会費収入	4,200	4,300	4,400	4,500
		委託事業収入	27,962	29,800	29,800	29,800
		寄附金収入	700	750	800	850
		補助金収入	1,815	1,815	1,815	1,815
		その他	170	180	190	200
		合計	34,857	36,855	37,015	37,175
支 出	事業費	普及啓発事業	2,900	3,200	2,900	2,900
		保全地管理事業	21,700	23,600	23,622	23,644
		募金活動事業	8,300	8,000	8,300	8,300
		法人管理	2,407	2,355	2,343	2,331
		合計	35,307	37,155	37,165	37,175
当期収支差額			△450	△300	△150	0